

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 7 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「グループホーム独自の理念」の存在感が薄く浸透が不十分。	職員間の共有。	毎日、必ず見る申し送りノートや業務日誌の表紙への貼り付け。2Fに関しては、理念を掲示する。(額で掛ける) 2F・3Fともに、月1回のミーティングで唱和、共有に努める。	24ヶ月
2	35	夜間想定消防訓練や地震、風水害の訓練を実施する事。	年2回の消防訓練の内、必ず1回は夜間想定訓練を実施。 地震の訓練の実施。 風水害の訓練の実施。	夜勤専属の職員が多い為、夜間想定訓練の後、必ず夜勤に入る職員全員に周知。共有する。地震・風水害ともに必ず、年1回実施する。	12ヶ月
3			前回出来ていなかった、停電・断水時の対処法(どのようにしのぐか?)3日間のしのぎ方のマニュアル作成。	災害時のマニュアルの見直し。(具体的な内容を盛り込む)	24ヶ月
4			事業継続計画の完成。	法人での作成。その計画の中に事業所の具体的な内容を盛り込み完成させる。	24ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。